

「リウマチ性疾患患者に生じた COVID-19 に関する研究」へのご参加・ご協力をお願い

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックが世界中で甚大な社会的、経済的そして医療危機を引き起こしています。COVID-19 の病態は一般集団においてすら不明な点が多く、病態の解明、それをふまえた診断法、治療法の確立が懸命に行われています。

その一方で、COVID-19 が生じたリウマチ性疾患患者についての報告がほぼ皆無であるため、その病態はまったくわかっていません。COVID-19 に罹患しやすいのか、症状・経過はどうなるのか、重症化リスク因子はあるのか、免疫抑制薬や生物学的製剤はどう使うのかなど多くの疑問はありますが、それらの疑問にほとんど答えられないのが実情です。

日本リウマチ学会では 2020 年 5 月より「リウマチ性疾患患者に生じた COVID-19 に関する研究」を全国のリウマチ専門医の先生方を対象にスタートしています。本研究では、COVID-19 を生じたリウマチ性疾患患者を対象に臨床情報を収集してデータベース化し、病態、重症化リスク因子、予後因子などについて観察研究を行うことを目的としています。ウイルス感染症への生体反応は人種差もありうるため、日本人患者での症例の蓄積が重要と考えられます。本研究への皆様のご参加・ご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

なお Web 上でデータベースを構築するために本研究では REDCap というシステムを用います。使用説明の動画 (10 分) を見ていただければ簡単に操作いただけます。

下記の【研究参加申請】からお申込みをお願いいたします。独自の倫理委員会をお持ちでないご施設でも、九州大学中央倫理審査委員会における一括審査を行うことにより参加可能となります。ぜひ事務局までお問い合わせください。

◇リウマチ性疾患患者に生じた COVID-19 に関する研究参加申し込み フォーム

<https://www.ryumachi-jp.com/form/covid-19/covid-19.html>

◇REDCap 説明動画 (約 10 分)

https://www.ryumachi-jp.com/download/JCR_COVID-19.mov

一般社団法人日本リウマチ学会
理事長 竹内 勤

リウマチ性疾患治療中に生じた COVID-19 に関する研究

責任者：堀内孝彦 (九州大学病院別府病院 病院長)

事務局：木本泰孝 (九州大学病院別府病院免疫・血液・代謝内科)

奥 健志 (北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

